

# 事業報告書

## 第1 平成25年度事業の概要

(財)石川県林業公社は、昭和41年10月に設立されて以来、森林資源の培養、県土の保全、水資源の涵養、林野の高度利用、森林のもつ保健休養機能の活用等を図り、農山村経済の振興と地域住民の福祉の増進に寄与するため、

- ① 森林所有者との分収方式による分収造林事業及び分収育林事業
- ② 地域林業の模範的な森林を育成するとともに、将来の財産収入確保を図るための公社有林事業
- ③ 石川、岐阜両県にまたがる未開発森林資源の開発と観光や経済、文化の交流などを目的とした白山スーパー林道の維持管理と整備受託事業
- ④ 石川県緑化センターの施設管理や種苗管理のための石川県緑化センター管理受託事業
- ⑤ 県営林の保育管理等の森林整備事業を実施するための県営林管理受託事業

等の業務に取り組んでおり、平成25年度については、次のとおり事業を実施した。

### 1 一般会計

#### (1) 造林事業

公社の主要事業である分収造林事業については、約1万4千ヘクタールの分収造林地で保育管理を実施しているが、分収造林事業は植栽から伐採による投資の回収までに長期間を必要とし、事業資金の大半を日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫）等からの借りに依存してきたことから、平成25年度末の借入金残高は約470億円となっている。

林業公社が昭和42年に事業を開始して以降、外材の輸入割合が約4割弱から7割へ拡大し、木材価格は約4分の1に下落したのに対し、逆に人件費は約5倍となるなど、当初の収支見込み時とは大きく乖離するなど、公社の経営が極めて厳しい状況となった。

このため、公社では、外部有識者等からなる「分収造林事業の経営改善に関する検討会」を設置し、平成17年2月にとりまとめられた提言に基づき、職員数の削減や事業の効率的な実施による経費削減の徹底、県等の財政支援による有利子負債残高の圧縮、分収比率の見直しに取り組んできた。その後高性能機械を用いた生産システムが定着したことや作業路網整備の進展など林業を取り巻く情勢変化を踏まえ、平成23年2月に「分収造林事業の経営改善に関する検討会」で長期収支試算の見直しについて検討いただいた結果、今後さらなる経営改善策として、分収比率

の着実な取り組み、民間金融機関への利払いの軽減、効果的なつなぎ資金の調達ができれば、平成87年までに収支はほぼ均等し、長期的に見て経営が改善するとの提言をいただき、これに基づき鋭意取り組んでいるところである。

民間有利子負債については、平成22年・23年に県からの支援により全額繰上償還を行い、支払利息が削減された。

また、分収比率については、県有地、8市町有地及び4森林組合所有地について、関係機関の理解を得て、公社9对各機関1の分収比率で変更契約を完了し、平成19年度からは、一般土地所有者に対する見直しに着手しており、変動比率（双方最大50パーセント持分譲渡）方式を用いて、土地所有者の理解を得ながら積極的に取り組みを進め、25年度末現在で公的機関も含めた実績は、11,124haと契約面積全体（13,731ha）の81.0%となっている。

なお、分収造林事業の実施にあたっては、利用間伐や路網整備を重点に実施するとともに、収益性の高い林分づくりを目標とした除伐・枝打ち等の必要な施業の実施に努めたところである。

また、公社有林の適切な管理を行うため必要な間伐を実施した。

## (2) 受託事業

県からの委託を受け、①、②、③、④の事業を実施した。

- ① 県営林管理受託事業
- ② 石川県緑化センター管理受託事業
- ③ 苗木育成等管理受託事業
- ④ 抵抗性マツ生産力強化受託事業

## 2 白山有料林道事業特別会計

白山林道については、利用者の安全を確保するため、県からの委託を受け、ふるさと林道整備事業や県有林道保全受託事業により落石防止施設や法面保護工、トンネルや橋梁等の補修工事を行った。

平成25年度の利用状況は、6月から10月にかけて豪雨や、台風の影響により、年間通行台数は前年度比15.5%減の60,380台にとどまり、これに伴い収入も前年度比15.6%減の119,124千円となった。

なお、夏休みには、家族連れをターゲットにした、普通車等の通行料金を2割引とする「夏得キャンペーン」を実施したほか、中京・関西地区はもとより、富山、福井といった近隣の県への出向宣伝も積極的に実施するなど利用拡大に努めた。

## 3 分収育林事業特別会計

分収育林事業については、県下3地区の分収育林地の管理を実施した。

# 1 一般会計

区 分	事 業 内 容	事 業 量	事 業 費
造 林 事 業	保 育 (枝打、間伐等)	管理面積 13,730.7 ha	429,149,401 <sup>円</sup>
公社有林管理事業	保 育 (間伐等)	管理面積 475.4 ha	6,715,800
県営林管理受託事業	保 育 (下刈、枝打、間伐等)	管理面積 7,603.4 ha	173,201,350
石川県緑化センター 管理受託事業	施 設 管 理 及 び 育 種 事 業	管理面積 361,443 m <sup>2</sup> 施設維持管理 17 棟	受託料 10,011,000 種苗売却収入 184,000 経費 10,195,000
苗木育成等管理 受託事業	植樹祭で使用する苗木の育成	竹ポット制作 2,500 個	2,299,500
抵抗性マツ生産力 強化受託事業	苗木生産の資材管理	資材購入 一 式	2,673,000
計	事 業 費		624,234,051

(1) 造林事業

造林面積は昭和42年度から平成8年度までに、県内15市町で約14,000ヘクタール(331団地)の造成を実施し、現在の森林構成は、枝打、除間伐を必要とする4~7齢級の林分は6,836ヘクタールで、全体の50%を占めており健全な森林を造成するため、適期の保育管理が重要となっている。

平成25年度事業は保育を主体に下記のとおり実施した。

事業名	事業内容	事業費
保育債務負担 (除伐・枝打)	保育面積 150.43 ha	39,799,200 円
保育1次 (獣害対策)	保育面積 142.47 ha	24,144,750
保育2次 (除伐・枝打)	保育面積 191.30 ha	63,626,850
利用間伐 (間伐・集材路開設・作業路改良)	間伐面積 345.49 ha 集材路開設 37,145 m 作業路改良 3,400 m	181,977,050
作業道改良・補強	改良・補強 374.5 m	4,249,350
小計		313,797,200
一般管理費		115,352,201
合計	保育面積 484.22 ha 間伐面積 345.49 ha 集材路開設 37,145 m 作業路改良 3,400 m	429,149,401

(参考)

利用間伐	面積	345.49 ha
	材積	8,384 m <sup>3</sup>
	売払金額 (公社収益)	40,117,350 円 (24,725,101円)

(2) 公 社 有 林 管 理 事 業

公社有林の保育管理等を下記のとおり実施した。

事 業 名	事 業 費
保 育 管 理 事 業 費	円 6,715,800

・ 保 育 管 理 事 業 内 訳

施 行 箇 所		間 伐	集材路開設	事 業 費
市 町 村	字			
珠 洲 市 若 山 町	水 林	ha 6.66	m	2,074,800
輪 島 市 空 熊 町	空 熊	8.72	1,100	4,641,000
計		15.38	1,100	6,715,800

(3) 県 営 林 管 理 受 託 事 業 費

県より委託を受けて間伐及び枝打等を下記のとおり実施した。

事 業 区 分	内 容	数 量	事 業 費
保 育 管 理	下刈等	9.08 ha	円 168,343,350
	枝打	4.37 ha	
	間伐等	112.09 ha	
	その他保育	252.03 ha	
	施業道開設	21,390 m	
事 務 費	職 員 費 等		4,858,000
計			173,201,350

(4) 石川県緑化センター管理受託事業

緑化センターの施設の管理及び育種事業等を県から受託し、下記のとおり実施した。

事業名	内 容	数 量	備 考
緑化センター 管理事業 7,966千円	管 理 面 積 緑 化 樹 の 販 売	591,700㎡ 273本	ポット苗等 ドウダソツヅ、ノキシマ、ササキ等 緑化樹売上額 184,000円
施設等維持 補修管理 81千円	施 設 管 理	17棟	緑化センター、温室等
	工 作 物 等 管 理	4件	トイレ配管修理等
育種事業 1,964千円  事業費計 10,011千円	種 子 乾 燥 ・ 脱 種 管 理	採取969.00 ℓ 脱種 19.59kg	種子採取、乾燥、貯蔵
	母 樹 林 管 理 採種園・採穂園改良管理	6.26ha	下刈、整枝選定、害虫防除 施肥、除草等
	す ぎ 精 英 樹 管 理	7.86ha	下刈、整枝選定、施肥、ジベリソ 散布等

(5) 苗木育成等委託事業

緑化センター施設等で第66回全国植樹祭の関連イベント業務「ドンダリのホームステイ」等の業務を県から受託して下記のとおり実施した。

事業名	内 容	数 量	備 考
苗木育成等 委託事業 2,299.5千円	苗木の育成	一式	ポット苗床製作
	育成ポット作成	一式	竹ポット2,500個
	育成苗木管理	一式	ポット苗木 苗植付け、散水管理
	苗木輸送	一式	竹ポットを4県事務所に輸送

(6) 抵抗性マツ生産力強化事業

緑化センターの苗畑で抵抗性マツ生産業務に対する資材の管理を受託して下記のとおり実施した。

事業名	内 容	数 量	備 考
抵抗性マツ 事業 2,673千円	資材購入	一式	主な資材
	資材管理	一式	Mスターコンテナ、ビホット、トレ エイジドココ、専用土、間伐木、鉄棒等

## 2 白山有料林道事業特別会計

区 分	事 業 内 容	事 業 量	事 業 費
管 理 事 業	林 道 の 維 持 管 理	道路維持管理 延 長 18.59 km 幅 員 6.5 m	141,117,770 円
整 備 事 業	ふ る さ と 林 道 整 備 事 業	丸太柵工 270 m 法面保護工 3,081 m <sup>2</sup> 路側擁壁工 203 m	97,650,000
	県 有 林 道 保 全 事 業	トンネル補修工 135 m 橋梁補修工 192 m ロックシェッド補修工 120 m	281,022,000
計			519,789,770

### (1) 管理事業

林道の利用者の便宜を図るため施設の維持管理等の業務を下記のとおり実施した。

施 工 箇 所	工 種	事 業 費
白 山 市 尾 添 ・ 中 宮	施設の補修及び 除 雪 等	42,003,822 円
	事 務 費	99,113,948
計		141,117,770

(2) ふるさと林道整備受託事業  
 通行の安全を確保するため、県からの受託事業として、下記のとおり工事を実施した。

施 工 箇 所	工 区	工 種	事 業 量	事 業 費
白山市尾添、中宮	1 工 区	法面保護工 路側擁壁工	565 m <sup>2</sup> 100 m	14,899,500
	2 工 区	丸太柵工 法面保護工 路側擁壁工	40 m 1461 m <sup>2</sup> 43.5 m	26,188,050
	3 工 区	丸太柵工 法面保護工 路側擁壁工	8 m 334 m <sup>2</sup> 59.5 m	14,805,000
	4 工 区	丸太柵工	222 m	14,910,000
	5 工 区	法面保護工	721 m <sup>2</sup>	20,160,000
		測量及び試験		2,412,900
		事 務 費		4,274,550
計				97,650,000

(3) 県有林道保全受託事業

老朽化した林道施設を改良するため、県からの受託事業として、下記のとおり工事を実施した。

施 工 箇 所	工 区	工 種	事 業 量	事 業 費
白山市尾添、中宮	1 工 区	トンネル補修工	30 m	39,165,000
	2 工 区	トンネル補修工	75 m	92,400,000
	3 工 区	トンネル補修工	30 m	43,470,000
	4 工 区	橋梁補修工	86 m	20,223,000
	5 工 区	橋梁補修工	36 m	6,762,000
	6 工 区	橋梁補修工	70 m	16,432,500
	7 工 区	ロケット補修工	36 m	8,914,500
	8 工 区	ロケット補修工	32 m	28,402,500
	9 工 区	ロケット補修工	52 m	25,252,500
計				281,022,000

(4) 利用状況

単位：台、円

年 度	利 用 台 数	利 用 料 収 入(石川県分)
H25	60,380	119,123,989
H24	71,468	141,100,943
H23	72,004	145,762,432
H22	73,054	148,456,316
H21	84,070	182,216,118
H20	92,534	198,516,076

### 3 分収育林事業特別会計

区 分	事 業 内 容	事 業 量	事 業 費
分収育林事業	分収育林地の管理	管理面積 6.85 ha 〔名水の森（輪島市） 2.85 ha〕 〔笠島の森（かほく市） 2.00 ha〕 〔能登中島河内の森（七尾市） 2.00 ha〕	43,882 <sup>円</sup>
計			43,882